

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、アカシオ サンガイネアが最大4.89細胞/ml確認されました。また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.3細胞/ml確認されました。

本日の調査においては、調査地点：藻津定点、栄喜奥及び青瀬山にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ サンガイネア	アレキサンドリウム属
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)		
片島 (別図⑦) 採水時間 9:20 透明度 - m	2.0	26.1	33.6	7.5	0	0
藻津定点 (別図⑨) 採水時間 9:31 透明度 - m	4.0	25.9	33.6	6.0	0	0
宿毛湾中央 (別図⑤) 採水時間 10:00 透明度 - m	2.0	26.0	33.6	5.9	0.07	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 10:05 透明度 - m	0.0	26.3	33.5	6.3	1.32	0
青瀬山 (別図③) 採水時間 10:07 透明度 - m	0.0	26.2	32.3	6.5	4.89	0.3
ヒロウラ (別図①) 採水時間 10:17 透明度 - m	1.0	26.1	33.5	5.9	0	0
田ノ浦 (別図⑧) 採水時間 10:39 透明度 - m	3.0	26.1	33.8	5.6	0.24	0